

<全体分析>

試験時間 90 分

<p>解答形式 記述(70点)・論述(30点) 分量・難易(前年比較) 分量(減少・変化なし・増加) 難易(易化・変化なし・難化) 大問4。Ⅰ～Ⅲは記述(小問数70)。Ⅳは200字の論述2題。 出題の特徴 時代別では、「原始・古代」「中世」「近世」「近代・戦後」で四分割の配点は例年と同じ。戦後は1950年代前半までが問われた。分野別では、文化から35%程度、政治から30%程度、外交から20%程度、社会経済から15%程度出題された。 その他トピックス Ⅰで歴史資料の図版を用いた新傾向の出題が見られた。 Ⅳ-②の類題が1998年度入試で出題されている。</p>

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
Ⅰ	記述 <史料> <図版>	原始・古代・ 近世・近代 総合	A銅鐸・金印・七支刀・木簡(図版) B天保の改革 C壬午軍乱への軍の対応 Aでは図版を使用しているものの、読み取りを必要とする設問は少ない。(6)は図版の「長屋親王」の語句に着目すれば解答できる。B・Cの未見史料問題は、史料の内容や設問文を慎重に読み解いて解答したい。ただし、(11)は難しい。(13)は下線部(j)・(k)から上知令が水野失脚のきっかけとなったことを想起したい。(17)は難問。	標準
Ⅱ	記述 (短文空欄 補充)	古代・近世・ 近代・戦後 総合	①奈良時代の貨幣流通 ②大仏造立 ③平安時代の仮名文学 ④負名体制と荘園 ⑤有田焼 ⑥黄檗宗と明清画 ⑦本草学 ⑧心学 ⑨大正期の大学 ⑩敗戦後の日本の領土 カは紫式部の仕えた中宮彰子が道長の娘であることから類推したい。トは「1953年」に返還されたとあることから「奄美」諸島に特定したい。	標準
Ⅲ	記述 (前提文) <一部史料>	古代・中世・近世 総合	A奈良時代後半から平安時代前期の政治 B鎌倉時代から室町時代初期の法と裁判 C近世の都市・農村と領国経済・全国流通 (7)「陳状」は詳細、(16)「貝原益軒」はヒントとなる用語が詳細で難しい。(14)の史料空欄補充は、度量衡の単位の理解が求められ、やや難。(19)「上方から江戸への送金」について説明させる短文記述は、全国流通の仕組みをふまえて答えたい。	標準
Ⅳ	論述	中世・近代 文化・政治・外交	(1)南北朝・室町時代における禅宗 幕府との関係に関しては、幕府の保護・統制と禅僧の役割の両面について論じること。文化への影響に関しては、禅宗文化が後の日本文化の基礎となったことも指摘したい。 (2)第1次近衛文麿内閣の政策 まず日中戦争を想起した上で、対中国政策については戦局の推移と近衛声明を、国内政策については総力戦体制の構築を軸に答案を作成したい。	標準

※難易度は5段階「難・やや難・標準・やや易・易」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準に判断しています。

- ① I～Ⅲの記述式 70 点、Ⅳの論述 30 点の配点を念頭に置いた学習計画を立てることが大切である。
- ② 全時代・全分野からまんべんなく出題される。I～Ⅲの記述式で高得点を確保するために、教科書を欄外の脚注なども含めてマスターしたい。
- ③ Ⅳの論述問題は対策の有無によって得点差がつく。早い段階から学習対策を立てて問題演習を行い、できる限り添削指導をうけること。
- ④ 史料問題は基本的に未見史料から出題されるが、市販の史料集などを利用して日頃から基本史料に慣れ親しんでおきたい。
- ⑤ 京都大学特有のひねりをきかせた設問対策として、夏期・冬期・直前講習および京大即応オープン・河合出版『入試攻略問題集 京都大学 地理・歴史』などの積極的な利用を薦めたい。